



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 nms ホールディングス株式会社

コード番号 2162 URL <https://www.n-ms.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 文明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 コーポレート本部長 (氏名) 河野 寿子

TEL 03-5333-1711

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	35,818	17.7	△236	—	426	731.7	129	—
2022年3月期第2四半期	30,430	16.8	△237	—	51	—	△282	—

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 220百万円（－％） 2022年3月期第2四半期 △66百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	8.30	—
2022年3月期第2四半期	△16.89	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	40,987	2,836	6.9
2022年3月期	34,842	2,693	7.7

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 2,826百万円 2022年3月期 2,685百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	23.3	800	—	650	429.0	250	—	16.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	21,611,000株	2022年3月期	21,611,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	6,067,959株	2022年3月期	6,067,959株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	15,543,041株	2022年3月期2Q	16,713,574株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2022年11月24日（木曜日）に機関投資家・アナリスト向けのオンライン決算説明会をウェブ会議システムを用いて開催する予定です。四半期決算補足説明資料については、T D n e t で同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、各国・地域における新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）への対策が進む中、感染者数の抑制も見られ、経済活動は正常化に向けた動きが加速しました。

一方、米国において、高騰する消費者物価の抑制に向けた政策金利引き上げが継続され、これに追従する欧州各国の動きもあり、コロナ禍からの景気回復の動きに懸念をもたらす状況となりました。また、部品不足や部材価格高騰に加え、中国における感染症再拡大に伴う経済活動抑制が継続、これによる物流の停滞が顕著となるなど、世界経済の先行き不透明感を一層深めることになりました。

わが国経済においても、感染症拡大防止策とワクチン接種の進展により行動制限が緩和され、景気は持ち直しの動きがみられたものの、原材料・エネルギー価格の高騰や急速な円安進行もあり、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループにおいては、社員およびお客様の安全確保を最優先しながら、グループ全体で事業基盤の強化を図るべく、合理化、効率化を徹底的に進め、事業効率のよい体制への転換や抜本的コスト構造改革を行ってまいりました。加えて、製造請負事業の強化や海外製造拠点における量産立ち上げなど、各事業とも売上確保への取り組みと、抜本的基盤強化策の実行を着実に進めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は35,818百万円（前年同期比17.7%増）となり、営業損失は236百万円（前年同期は237百万円の損失）となりました。また、営業外収益において海外子会社へのグループ内貸付金に対する評価替えおよび海外子会社間の取引等による為替差益828百万円の発生があり、その結果、経常利益は426百万円（前年同期比731.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は129百万円（前年同期は282百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① HS事業（ヒューマンソリューション事業）

国内事業については、需要が堅調に推移し増収増益となりました。利益面においては感染症拡大や半導体関連等の部品不足によるお客様の稼働影響等の利益圧迫要因がありましたが、既存取引における原価率の改善や適正販管費の管理強化等、基盤強化策の実行を進め収益性改善に努めました。海外事業においても、中国ロックダウンの影響を受けたものの、新規顧客の獲得や既存取引のシェア拡大による在籍人数増加に加え、請負・受託の利益率改善の効果もあり、前年同期に対し増収増益となり、全体として業績が改善傾向となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、11,507百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益は、470百万円（前年同期比50.2%増）となりました。

#### ② EMS事業（エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業）

EMS事業は、中国・ASEAN・北中米において生産活動を展開しており、戦略投資の実行期にあります。感染症再拡大に伴う各国政府方針によるロックダウン影響や部品不足等によるお客様の生産計画変更等の影響が残りましたが、需要は堅調に推移し、中国における新規受注の立ち上げやベトナムにおける量産開始など、事業規模拡大により増収となりました。利益面では、部品不足等による稼働への影響に加え、北中米EMS事業における量産立ち上げコストが増加し、セグメント損失を計上しました。北中米EMS事業は当社グループの市場領域拡大を担う重点施策であり、お客様からの引き合いも順調に増えており、業績改善に向け基盤強化策の実行を進めてまいります。

この結果、当セグメントの売上高は、17,010百万円（前年同期比24.3%増）、セグメント損失は、260百万円（前年同期は301百万円の損失）となりました。

#### ③ PS事業（パワーサプライ事業）

PS事業は、中国におけるロックダウンなど感染症拡大による影響に加え、サプライチェーンの混乱や部品不足によるお客様先での生産調整の影響があったものの、引き続き高い水準で需要が推移したことに加え為替影響もあり、増収となりました。利益面では、部品調達難および副資材も含む部材価格高騰や物流コスト上昇などの影響が利益圧迫要因となりました。当第2四半期連結累計期間はセグメント損失計上を余儀なくされましたが、通期での業績改善に向け、部材価格高騰に伴う売価の是正や、部材の調達ソース拡大等、安定した生産活動および収益確保に向けた施策の実行を進めてまいります。

この結果、当セグメントの売上高は、7,300百万円（前年同期比23.3%増）、セグメント損失は、194百万円（前年同四半期は16百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産及び負債、純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、31,381百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,032百万円増加いたしました。これは現金及び預金が1,047百万円減少した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が1,167百万円、原材料及び貯蔵品が4,332百万円増加したことによるものです。

固定資産合計は、9,573百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,119百万円増加いたしました。これは有形固定資産が1,048百万円、投資その他の資産が96百万円増加した一方で、無形固定資産が25百万円減少したことによるものです。

繰延資産は、33百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、40,987百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,145百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、32,501百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,168百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が3,469百万円、短期借入金が2,475百万円増加したことによるものです。

固定負債合計は、5,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ165百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が221百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、38,150百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,002百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,836百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が51百万円、為替換算調整勘定が90百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は6.9%（前連結会計年度末は7.7%）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、4,045百万円（前年同期は4,765百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、860百万円の支出（前年同期は583百万円の支出）となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益399百万円（前年同期は115百万円の純損失）、減価償却費689百万円（前年同期は764百万円）、仕入債務の増加額2,303百万円（前年同期は624百万円の増加額）等となり、主なマイナス要因は、為替差益609百万円（前年同期は293百万円の為替差益）、棚卸資産の増加額3,475百万円（前年同期は916百万円の増加額）、未払金の減少額330百万円（前年同期は28百万円の減少額）等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、1,088百万円の支出（前年同期は346百万円の支出）となりました。主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出1,071百万円（前年同期は553百万円の支出）、無形固定資産の取得による支出36百万円（前年同期は133百万円の支出）等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、521百万円の収入（前年同期は826百万円の収入）となりました。主なプラス要因は、短期借入金の純増額1,073百万円（前年同期は1,157百万円の純増額）となり、主なマイナス要因は、長期借入金の返済による支出435百万円（前年同期は354百万円の支出）等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年9月13日において公表いたしました「営業外収益（為替差益）の計上および2023年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。

なお、当該業績予想は現時点での情報をもとにしておりますので、今後、業績動向の変化を与える事象が生じた場合等には業績予想を変更する場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,131,886	4,084,733
受取手形、売掛金及び契約資産	11,735,694	12,903,397
製品	1,287,937	1,338,047
仕掛品	699,212	934,110
原材料及び貯蔵品	6,132,170	10,464,220
その他	1,373,328	1,669,840
貸倒引当金	△11,081	△13,158
流動資産合計	26,349,148	31,381,191
固定資産		
有形固定資産		
土地	953,021	953,021
その他(純額)	5,744,321	6,792,855
有形固定資産合計	6,697,342	7,745,877
無形固定資産		
その他	722,073	696,325
無形固定資産合計	722,073	696,325
投資その他の資産		
その他	1,033,877	1,130,826
投資その他の資産合計	1,033,877	1,130,826
固定資産合計	8,453,293	9,573,028
繰延資産		
社債発行費	39,663	33,053
繰延資産合計	39,663	33,053
資産合計	34,842,105	40,987,273
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,230,005	8,699,797
短期借入金	16,324,883	18,800,777
未払金	2,239,346	2,118,938
未払法人税等	185,357	274,403
未払消費税等	371,190	334,051
賞与引当金	455,422	642,623
その他	1,527,630	1,631,394
流動負債合計	26,333,836	32,501,986
固定負債		
社債	2,000,000	2,000,000
長期借入金	2,853,065	2,631,476
繰延税金負債	66,339	70,377
退職給付に係る負債	317,143	340,144
その他	577,731	606,948
固定負債合計	5,814,278	5,648,947
負債合計	32,148,115	38,150,933

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,690	500,690
資本剰余金	554,842	554,842
利益剰余金	3,439,757	3,491,116
自己株式	△1,310,407	△1,310,407
株主資本合計	3,184,883	3,236,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,851	△8,347
為替換算調整勘定	△491,954	△401,054
その他の包括利益累計額合計	△499,805	△409,402
非支配株主持分	8,912	9,500
純資産合計	2,693,990	2,836,339
負債純資産合計	34,842,105	40,987,273

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	30,430,024	35,818,606
売上原価	27,170,332	32,532,980
売上総利益	3,259,691	3,285,625
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	1,419,613	1,300,684
賞与引当金繰入額	125,551	119,003
その他	1,952,004	2,102,743
販売費及び一般管理費合計	3,497,169	3,522,431
営業損失(△)	△237,477	△236,805
営業外収益		
受取利息	7,695	6,871
為替差益	363,476	828,075
その他	52,876	48,832
営業外収益合計	424,048	883,779
営業外費用		
支払利息	100,276	135,166
社債発行費償却	6,610	6,610
外国源泉税	2,275	3,354
その他	26,094	75,079
営業外費用合計	135,257	220,210
経常利益	51,313	426,762
特別利益		
固定資産売却益	57,573	924
特別利益合計	57,573	924
特別損失		
固定資産除却損	392	1,878
事業構造改革費用	161,449	-
新型コロナウイルス感染症関連損失	62,296	26,090
特別損失合計	224,138	27,968
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△115,251	399,718
法人税等	167,190	270,644
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△282,441	129,073
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△136	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△282,305	129,073

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△282,441	129,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	589	△496
為替換算調整勘定	214,874	91,955
その他の包括利益合計	215,463	91,459
四半期包括利益	△66,978	220,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,147	219,476
非支配株主に係る四半期包括利益	169	1,055

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△115,251	399,718
減価償却費	764,586	689,293
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△188	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	99,067	158,738
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,092	2,576
受取利息及び受取配当金	△7,695	△6,871
支払利息	100,276	135,166
社債発行費償却	6,610	6,610
為替差損益(△は益)	△293,042	△609,826
固定資産除却損	392	1,878
固定資産売却損益(△は益)	△57,573	△924
事業構造改革費用	161,449	-
コロナウイルス感染症関連損失	62,296	26,090
売上債権の増減額(△は増加)	△301,989	△70,452
未収入金の増減額(△は増加)	△28,996	△71,705
棚卸資産の増減額(△は増加)	△916,913	△3,475,902
立替金の増減額(△は増加)	△98,425	1,605
仕入債務の増減額(△は減少)	624,609	2,303,213
未払金の増減額(△は減少)	△28,204	△330,329
未払費用の増減額(△は減少)	△6,600	△52,443
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26,659	△69,516
預り金の増減額(△は減少)	△101,529	7,270
長期未払金の増減額(△は減少)	△14,609	16,393
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△145,807	50,524
その他	122,734	245,954
小計	△193,370	△642,935
利息及び配当金の受取額	6,331	31,212
利息の支払額	△103,371	△130,722
法人税等の支払額	△191,573	△171,363
法人税等の還付額	120,790	28,449
事業構造改革費用の支払額	△161,449	-
雇用調整助成金等の受取額	23,991	52,700
コロナウイルス感染症関連損失の支払額	△84,583	△27,521
営業活動によるキャッシュ・フロー	△583,235	△860,180

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,926	△14,580
定期預金の払戻による収入	4,812	5,603
有形固定資産の取得による支出	△553,624	△1,071,536
有形固定資産の売却による収入	377,270	934
無形固定資産の取得による支出	△133,394	△36,560
敷金及び保証金の差入による支出	△10,528	△18,028
敷金及び保証金の回収による収入	4,130	23,703
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	-	20,000
保険積立金の払戻による収入	-	9,042
その他	△30,168	△7,048
投資活動によるキャッシュ・フロー	△346,429	△1,088,469
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,157,767	1,073,544
長期借入れによる収入	300,000	80,000
長期借入金の返済による支出	△354,944	△435,102
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△157,853	△119,047
割賦債務の返済による支出	△51,875	-
配当金の支払額	△66,812	△77,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	826,281	521,745
現金及び現金同等物に係る換算差額	127,175	365,856
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	23,793	△1,061,048
現金及び現金同等物の期首残高	4,741,407	5,106,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,765,200	4,045,203

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	H S 事業	EMS 事業	P S 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
日本	8,864,777	3,852,553	716,549	13,433,880	—	13,433,880
中国	707,585	2,345,198	5,203,921	8,256,705	—	8,256,705
マレーシア	—	5,885,291	—	5,885,291	—	5,885,291
その他	1,255,021	1,599,125	—	2,854,147	—	2,854,147
顧客との契約から 生じる収益	10,827,384	13,682,168	5,920,471	30,430,024	—	30,430,024
(1)外部顧客への 売上高	10,827,384	13,682,168	5,920,471	30,430,024	—	30,430,024
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	46,888	1,126,933	226,820	1,400,642	△1,400,642	—
計	10,874,273	14,809,102	6,147,291	31,830,666	△1,400,642	30,430,024
セグメント利益 又は損失(△)	313,440	△301,671	△16,640	△4,871	△232,606	△237,477

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△232,606千円には、セグメント間取引消去7,392千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△239,998千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
3. その他の区分に属する国の内訳は、タイ、米国、ベトナム、ラオス、インドネシアであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	H S 事業	EMS 事業	P S 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
日本	8,998,430	4,047,467	904,037	13,949,935	—	13,949,935
中国	920,807	3,734,086	6,396,671	11,051,566	—	11,051,566
マレーシア	—	6,633,323	—	6,633,323	—	6,633,323
その他	1,588,293	2,595,488	—	4,183,781	—	4,183,781
顧客との契約から 生じる収益	11,507,530	17,010,366	7,300,709	35,818,606	—	35,818,606
(1)外部顧客への 売上高	11,507,530	17,010,366	7,300,709	35,818,606	—	35,818,606
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	86,312	1,274,006	19,931	1,380,249	△1,380,249	—
計	11,593,843	18,284,372	7,320,640	37,198,856	△1,380,249	35,818,606
セグメント利益 又は損失 (△)	470,844	△260,708	△194,586	15,549	△252,355	△236,805

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△252,355千円には、セグメント間取引消去7,238千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△259,593千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
3. その他の区分に属する国の内訳は、ベトナム、タイ、米国、ラオス、インドネシアであります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。